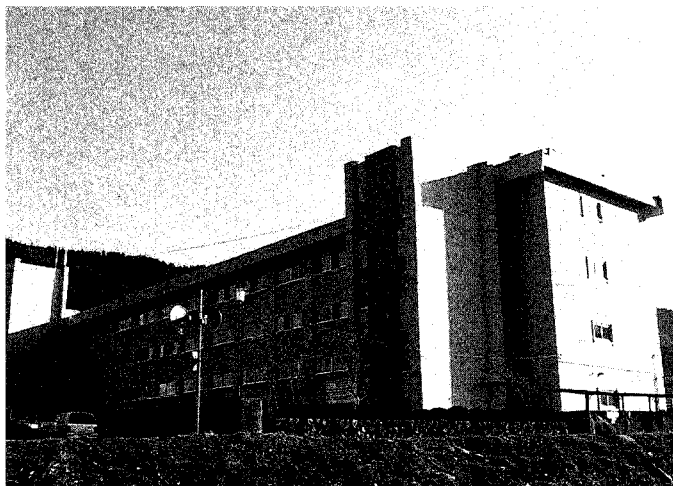


## 教育文化の向上

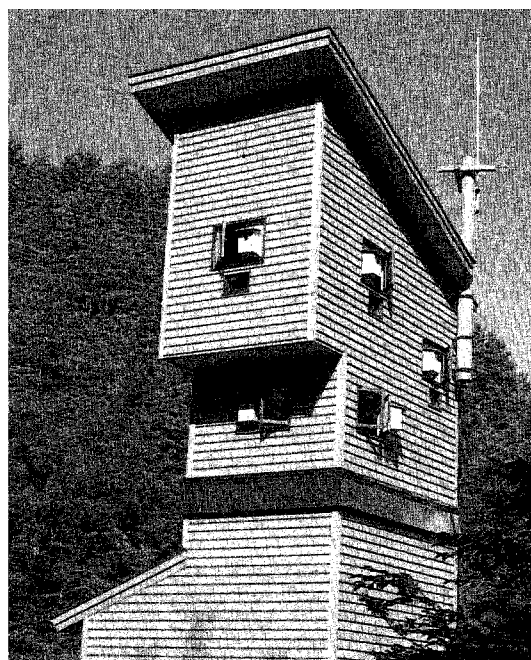
小学校から大学までの一貫した施設整備に努めているところでありますが、本年は平成三年度から継続して実施してきました都留第一中学校改修の最終年として一般教室の改修を行います。

また、禾生第一小学校運動場拡張整備、谷村第一小学校運動場大規模改修を実施してまいります。

都留文科大学につきましては、十八歳人口の急減期を迎えて、開学以来から教員養成の中心的な役割を果たしてきた初等教育学科の入学定員を五〇名減員変更して、若者に魅力ある新学科「比較文化学科」（入学定員八〇名）を平成



都留第一中学校



宝いきものふれあいの里観察塔

五年四月から開設いたします。また、中長期的な展望の中で、文学部の改組をも含めた復学部構想・大学院文学研究科の構想をも策定していかなければならないと考えております。

市民の文化・芸術活動の拠点となる文化ホール建設事業につきましては、昨年八月、国からこの事業が「森の芸術・文化公園建設事業」として平成四年度まちづくり特別対策事業に採択され、平成七年完成を目的に音楽を主体とした多目的ホールとして、市民に愛される施設づくりに向け、ハード・ソフト両面にわたり検討を加えております。本年は進入路工事に併せ、本体工事に入る予定となっております。



ネイチャーセンター

います。

また、文化都市にふさわしい豊かなまちづくりを目指す中で、週休二日制の定着化に伴い、市民の生涯学習の欲求や必要性は年々高まっております。

こうした社会情勢の中で、今春高畑地内に完成いたします「いきものふれあいの里」は、余暇を利用した自然学習に大いに役立つものと考えております。

また、大正期の商家仁科家を活用した資料館につきましても本年整備し、開館してまいります。

社会体育につきましても、昨年は、大輪スポーツ広場の整備、玉川公園夜間照明施設の充実などを実施してまいりましたが、社会体



盛況だったふれあい俳句大会

育施設の充実及び市民だれもが参加できる軽スポーツの普及など、市民一人ひとりが日常の生活の中にスポーツを取り入れ、体力の増強や健康の増進につながるよう努めてまいります。

さらに、第五回全国健康福祉祭ふれあい俳句大会は、昨年十一月一日、すばらしい秋晴れに恵まれ、各界各層の多くの市民のご協力をいただき、大成功のうちに催すことができました。

本市には松尾芭蕉が長く滞在し、本市に関係した多くの句を詠んでおり、俳句文学においても歴史と伝統のあるまちであります。ふれあい俳句大会の成功を期し、文化のまちづくりの一環として、本年から市独自の俳句大会を開催し、全国規模の祭りとして定着させていきたいと考えております。